シグナルマークについて

●シグナルマークは危険のレベルを表します。
それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で、必ず記載の注意事項を守ってください。
⚠危険ー取扱いを誤った場合に、死亡、重傷の危険が発生します。
⚠警告ー取扱いを誤った場合に、死亡、重傷の危険が発生する可能性があります。
⚠注意ー取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

取扱い上の注意

⚠注意　最大積載重量を守り、過積載は絶対に行わないでください。
→過積載をしますと、脱落や破損だけでなく車両の変形、積載物落下等の原因になります。
⚠注意　マルチレール(RW-16N)の「1スパン」に対し、30kgを超える積載はしないでください。
→過積載をしますと、レールの破損だけでなく車両の変形、積載物落下等の原因になります。
⚠注意　初期ユルミが発生しますので、定期的に各締め付け部にユルミが無いか点検してください。
→締め付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。
⚠警告　本製品の改造は絶対に行わないでください。
→本製品の改造による事故責任は一切負いかねますのでご了承ください。
【例】･部品類の穴あけ及び溶接　･本製品以外の部品による組立て及び部品交換
⚠警告　部品不足での使用は絶対に行わないでください。
⚠警告　ラゲッジパーテーションの使用時は必ず法定速度を守り、急発進、急ブレーキ、急ハンドル等の過酷な運転は避け悪路では徐行してください。
→積載物がズレる等、危険な状態に変化することがあります。
⚠警告　積載物は必ず市販のラッシングベルト等の固定具でしっかりと固定してください。
→積載物がズレる等、危険な状態に変化することがあります。

部品交換について

● 部品を破損、紛失された場合は、ご使用の品番及び「本書」の構成パーツ表の各部品名にてお買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。

事故が起きた時は

製品の欠陥等により万が一事故が発生した場合は、速やかに販売店またはと弊社までご連絡ください。
事故対応をスムーズに行うためにも、お客様に以下のことをご用意して頂く必要があります。
（１）事故製品の確保ー事故発生時のままの状態のもの(製品をバラバラにしない)
（２）損害の内容ー損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
（３）事故発生状況ー日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出
（事故、紛失届)(いつ、どこで、何が、どのように)
*お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社
〒463-0025 名古屋市守山区元郷2-107　TEL(052)778−7876　FAX(052)778−7718
HP https://www.rocky.ne.jp　E-mail rocky@rocky.ne.jp

Rocky work tool

RWシリーズ 取扱い説明書

NV350キャラバン・コモ／ＤＸ／ＶＸ
ロングボディ／標準ルーフ／バン専用

品番／RW-11N〈ラゲッジパーテーション〉

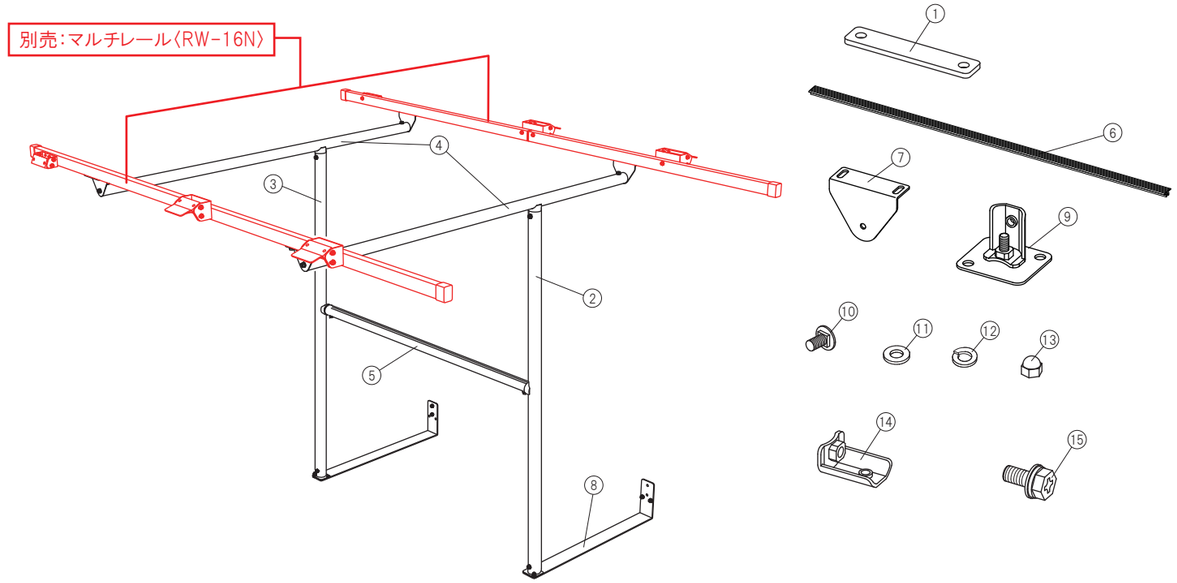
この度はロッキーワークツール**「RWシリーズ」**をお買い上げいただきありがとうございます。
常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上ご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て、取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。
誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に

● 本製品は**【ニッサン】NV350キャラバン(E26系)・【イスズ】コモ(E26系)／DX／VX／ロングボディ／標準ルーフ**専用となります。取付けを行う車両が上記のタイプに該当しているかの確認を行ってください。
別グレード及び、他の車種には取付けできません。
(注)【ワゴンGX・プレミアムGX・アーバンクロム】【スーパーロングボディ・ハイルーフ／標準幅】
【スーパーロングボディ・ハイルーフ／ワイド幅】は取付けできません。
● 本製品の取付けには、**別売：マルチレール〈RW-16N〉**が必要となります。
● ラゲッジパーテーション〈RW-11N〉を取付ける際は先に**別売：マルチレール〈RW-16N〉**の取付けを行ってください。
● 本製品の最大積載重量は**「10kg」**となります。
● **積載物を固定する際の固定具(ゴムバンド・ベルト等)はお客様の方でご用意していただきますようお願いいたします。**
⚠注意　固定具が無い状態での使用は危険です。
● 本製品の固定には、**「＋ドライバー」「8mmスパナ」**をご用意していただきますようお願いいたします。

構成パーツ

●構成パーツは検査済みですが組立てを行う前に必ず、ご確認をしてください。



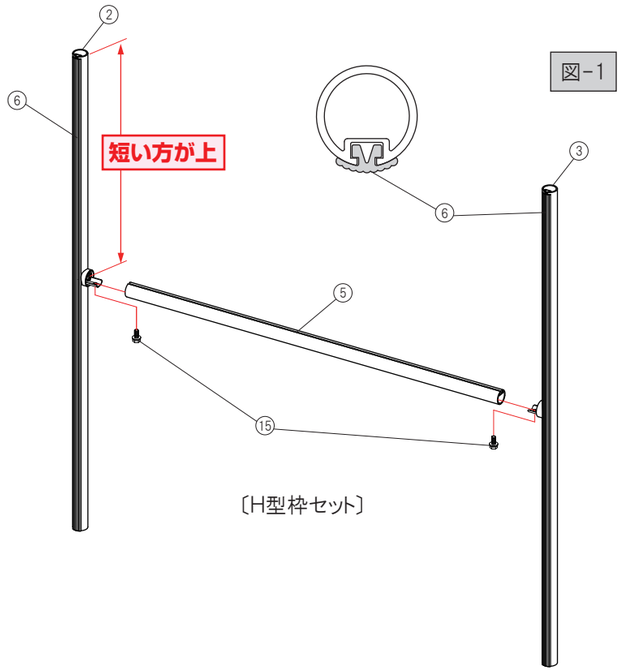
No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	レールスライド金具	4	⑥	φ32ラバー L1133	2	⑪	平座金 M6 UC	4
②	φ32溝付アルミパイプ(縦･右)	1	⑦	φ32用L型ステー	4	⑫	バネ座金 M6 UC	4
③	φ32溝付アルミパイプ(縦･左)	1	⑧	ラゲッジポール下部金具	2	⑬	袋ナット M6 UC	4
④	φ32溝付アルミパイプ L1180	2	⑨	ラゲッジ下部金具セット	2	⑭	ステップ金具(ナット付)	4
⑤	φ32溝付アルミパイプ L904	1	⑩	角根ボルト M6 UC	4	⑮	六角ボルトセットM6	26

組立て方法①

1. 縦の〔H型枠セット〕を組立てます。
⑤φ32溝付アルミパイプL904の溝を上にして、②③φ32溝付アルミパイプ縦(左・右)の中央部の金具に差込み、
⑮六角ボルトセットM6にて組付けます。この時、パイプ先端から金具までの距離が短い方が「上」になります。
組付け後、⑥φ32ラバー L1133を②③φ32溝付アルミパイプ縦(左・右)の溝に差込みます。〔図-1〕

⚠注意　組み上げた〔H型枠セット〕は接続部が壊れる恐れがあるため、ねじれないように寝かせて保管してください。

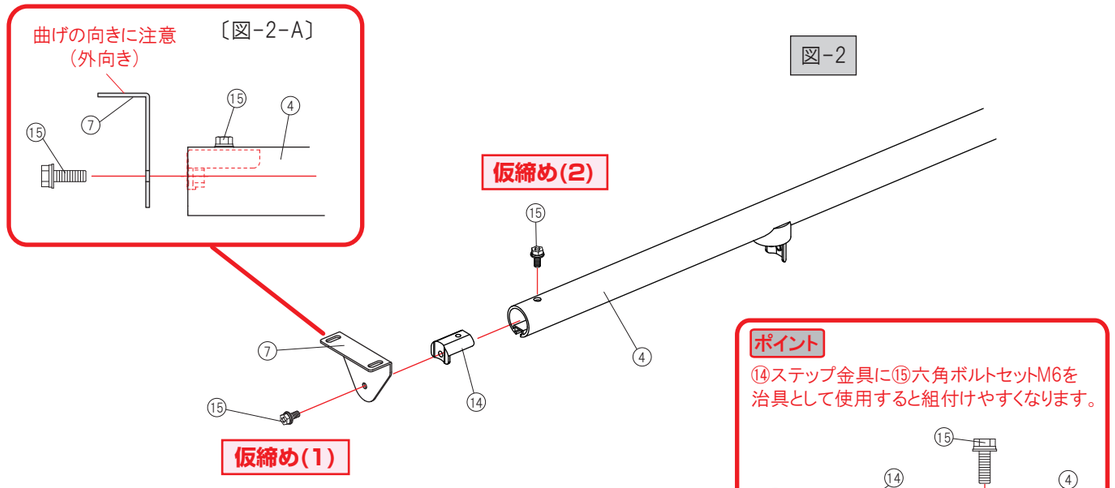
図-1



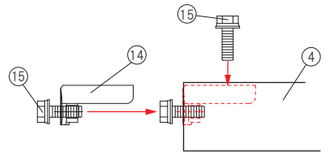
〔H型枠セット〕

2. ④φ32溝付アルミパイプL1180の両端に⑭ステップ金具(ナット付)を入れ、上から⑮六角ボルトセットM6で仮締めします。
次に、⑦L型ステーの曲げの向きに注意して〔図-2-A〕外側から⑮六角ボルトセットM6を通し、④φ32溝付アルミパイプL1180
に組付け済みの⑭ステップ金具(ナット付)に仮締めをします。〔図-2〕

図-2



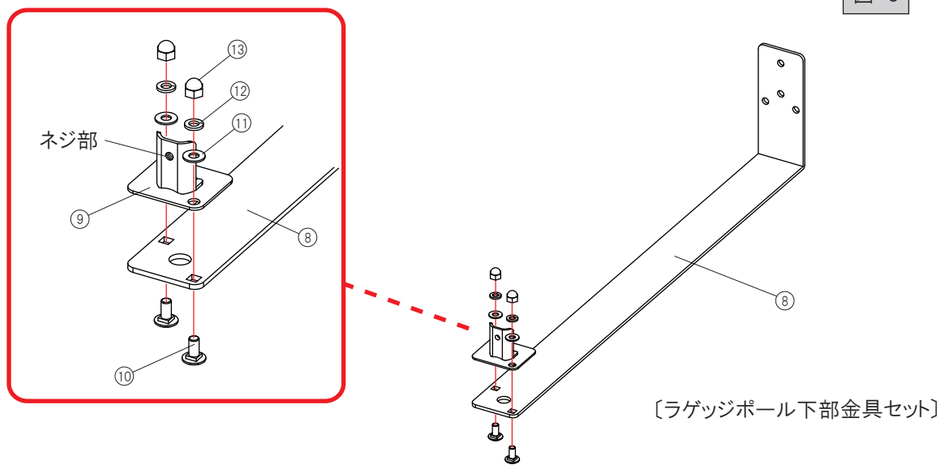
ポイント
⑭ステップ金具に⑮六角ボルトセットM6を
治具として使用すると組付けやすくなります。



組立て方法②

3. ⑧ラゲッジポール下部金具の先端に⑨ラゲッジ下部金具セットを載せ、下の角穴から⑩角根ボルトM6を通し、
⑪平座金M6、⑫バネ座金M6、⑬袋ナットM6にてしっかりと締付けます。(2セット)
この時、⑨ラゲッジ下部金具セットのネジ部が外側になっている事を確認してください。

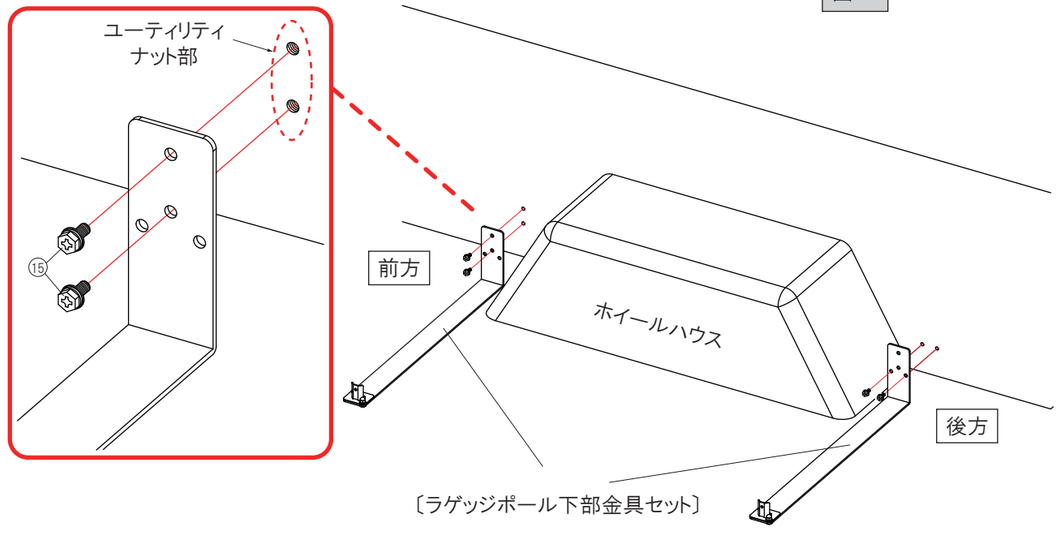
図-3



〔ラゲッジポール下部金具セット〕

4. 「3」で組付けした「ラゲッジポール下部金具セット」の垂直面を荷室下部のホイールハウスの両サイドに装備されている
「ユーティリティナット部」にあて、⑮六角ボルトセットM6にてしっかりと固定します。
この時、⑮六角ボルトセットM6は【前方】が上下に【後方】が左右に締付けます。

図-4

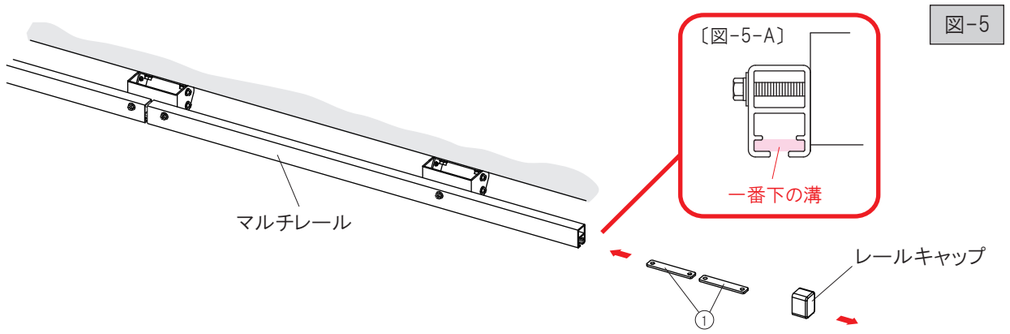


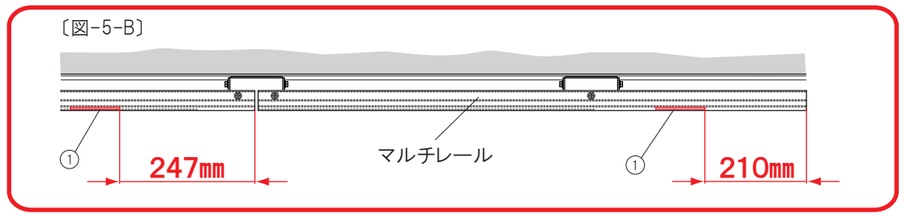
〔ラゲッジポール下部金具セット〕

組立て方法③

5. 取付け済みのマルチレール〈RW-16N〉に被せてあるレールキャップの後側を一旦外し、マルチレールの一番下の溝〔図-5-A〕に①レールスライド金具を2ヶ入れます。①レールスライド金具の端が取付け位置〔図-5-B〕に来るように
ペン先等を利用してマルチレールの下(溝)から取付け位置まで誘導させます。(左右各1セット)

図-5

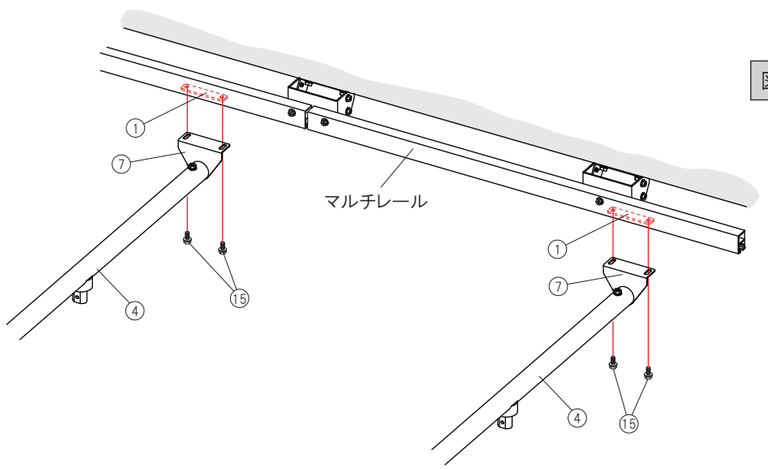




6. 「2」で組付けた、④φ32溝付アルミパイプL1180の⑦L型ステーの穴とマルチレールに入れた①レールスライド金具のネジ穴の位置を合わせ、下から⑮六角ボルトセットM6にて仮締めします。
この時、左右とも同じ位置になっているかの確認を行ってください。〔図-6〕

⚠注意　ここからの作業は**2**人以上で行うことをお勧めします。

図-6

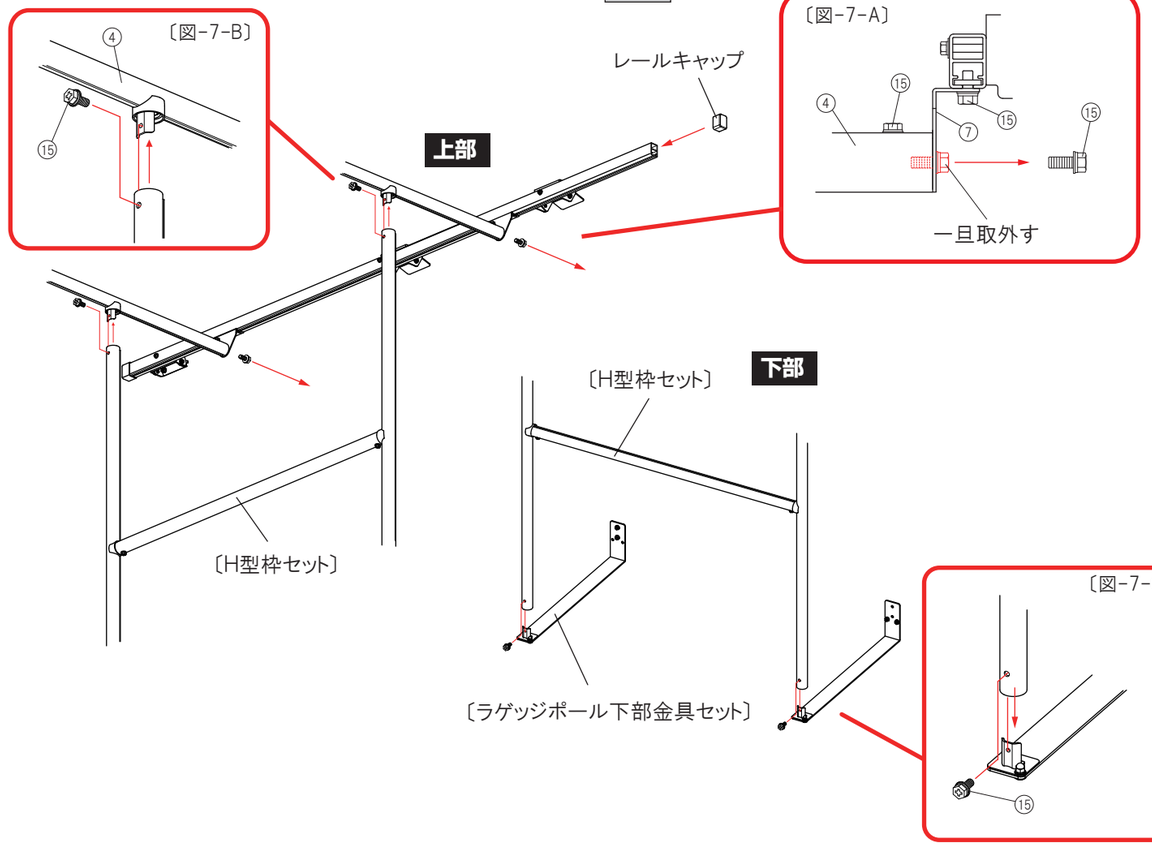


組立て方法④

7. 「1」で組立てた〔H型枠セット〕を「6」でマルチレールに組付けた④φ32溝付アルミパイプL1180 と、
「4」で組付けた〔ラゲッジポール下部金具セット〕に下記手順で組付けます。〔図-7〕

1. ④φ32溝付アルミパイプL1180に組付けた⑦L型ステーの外側の⑮六角ボルトセットM6を一旦取外します。〔図-7-A〕
2. ④φ32溝付アルミパイプL1180に組付けてある金具に〔H型枠セット〕の上部を差し込み、⑮六角ボルトセットM6
で組付けます。〔図-7-B〕
3. 〔H型枠セット〕の下部を〔ラゲッジポール下部金具セット〕の先の金具に④φ32溝付アルミパイプL1180 を上に浮かしながら差込み⑮六角ボルトセットM6で組付けます。〔図-7-C〕
4. 〔H型枠セット〕の上下組付け後、1.で取外した⑮六角ボルトセットM6を戻し、しっかり締付けます。〔図-7-A〕
5. 「2」で仮締め(2)の⑮六角ボルトセットM6をしっかりと締付けます。〔図-7-A〕
6. 「6」で仮締め状態の⑮六角ボルトセットM6をしっかりと締付けます。〔図-7-A〕
この時、「5」の〔図-5-B〕の取付け位置の状態であるかの再確認を行ってください。
7. 「5」で外したレールキャップをマルチレールに戻します。

図-7



8. 取付け終了後、各締付部の状態を確認を行ってください。確認後、ラゲッジパーテーションを上下左右に揺すり、ガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

⚠注意　取付けた初期段階では初期ユルミが発生します。定期的に締付部の増し締めを行い、状態の確認を行ってください。

この「取扱い説明書」は右側取付け (運転席側後方) の説明となっております。
左側 (助手席側後方) に取付ける場合は左側に置き換えて取付けを行ってください。